

令和6年度 自己点検・自己評価 集計表

令和6年度自己点検自己評価（令和6年4月1日～令和7年3月31日）による

大項目	点検・評価項目	自己評価		自己点検・自己評価項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	学校関係者評価委員からのご意見
		優れている・3 適切・・・2 改善が必要・1				
1 教育理念・目的・育人人材像	1-1 理念・目的・育人人材像は定められているか	3		・寄付行為では「美容に関する知識・技術を修得させるとともに、技能を磨く精神を涵養し、もって美容文化および国民生活の向上に貢献することを目的とする」と理念、目的を記載。学則上にも、育人人材像を明確にしている。	・教育目標として「挨拶とマナーは接客の基本」を掲げている。 ・育人人材像として下記を目標とし、入学時から指導を行っている。 1、スペシャリストとしての目標意識や使命感を持ち、自ら進んで学習する学生。 2、優れた技術や感性を持ち、何事にもやり抜く強い意志ある学生。 3、いつも感謝と思いやりの心を持って行動する学生。 4、常に明るい笑顔と規律やマナーの向上に努める学生。 5、社会人としての自覚を持ち、おしゃれ心と清潔感にあふれている学生。	・教育理念にある挨拶。大きな声で返事をするこ が一つ一つのコミュニケーションで一番大切であ る。これを一番掲げていることはととてもよいこ とである。以前と比較して学生との向き合い方も変 わってきている思う。基本的なことよりも今すぐで きるを端的に教えて欲しい学生のニーズにも応える 必要があると感じる ・同窓会は人脈作りにもなるため、若い世代には必 要だと思う ・退学者は様々な理由があると思うが退学率抑制の ため、対策がより必要ではないか
	1-2 学校の特色は何か	3		・ハイレベルな職業教育(国家試験合格率の高さ、現場で通用する基礎技術、接客力)と施設・設備の充実に加えて、幅広い美容技術と学生が将来目指したい職種に対応した科目を取り入れることにより、常に変化している美容業界のニーズに反映したカリキュラムの導入を行っている。 ・学生により満足感が持ってもらえるよう教職員全員で提供できる環境作りにも努めている。	・毎年、カナモトホールにてヘアショーを大勢の美容業界の方、保護者、一般の方をお招きして行っている。道内の美容学校が行っているヘアショーでは最大規模であり、多数の方から賞賛の声をいただいている。今後も継続していく予定である。 ・令和6年度開催の「全国学生技術コンテスト」で6名が入賞、うち1名がワインディング部門で優勝を獲得。今回で16回目の全国優勝。・令和6年度開催の「理美容甲子園2024」北海道大会で8名が入賞し、うち3名が全国大会に出場した。全国3位にあたる銅賞を獲得した。 ・ここ数年、サロンの方が参加しての授業やイベント、ミニコンテスト、スポーツ大会等を行い学生満足度を高めるよう取り組んでいる。	
	1-3 学校の将来構想を抱いているか	3		・すべての卒業生が、卒業生としてプライドを持てる学校を目指し、教育内容のさらなる充実を図る。実績が高く評価される私学として学生確保に努めたい。 ・教育のさらなる充実では、学生と現場のニーズに合う若者をしっかり教育し、いかにして実社会に適応させていくかをテーマに、学生と教員の距離をさらに密にコミュニケーションを図っていききたい。学生募集では多様化する情報化社会のニーズにマッチした広報（SNS等）を行い、より多くの人々に本校を認知させていきたい。	・入学定員の確保を経営目標とし、資格就職はもちろんのこと学生一人一人の夢の実現をかなえることで学生の人生に、そして社会に大きく貢献する。 ・卒業が人生を終えるまでこの学校を卒業したことを誇りに思える学校を目指す。また一年生主体の「STYLING CONTEST」で1技術者でチームを組み、テーマを決めトータルスタイリングする学内コンテストを開催。プロ審査員を招き作品のアドバイスを受けた。年に一度の恒例イベントにした。・カレッジ部を発足した。放課後の課外授業として学ぶ。直接トップスタイリストから美容指導を受けられるカレッジワークは学生にとって貴重な経験となった。 ・100周年を一つの指標として、卒業生の満足度を高めるべくOB会組織（ピセンアルムナイ）の立ち上げを取り組みを本格化した。	
2 学校運営	2-4 運営方針は定められているか	3			専任教員間での情報共有はしっかりできている。朝礼後に教各学年の担任でのミーティングを実施。技術指導及び学生指導において、各教員・各クラスでの指導上の温度差が極力ないように心がけている。学生との信頼関係構築に役立っている。	・人事評価システム導入には費用が嵩み、一長一短な部分があるが管理の仕方次第では時間短縮にもなる。まずは導入を検討する間に上司と部下がそれぞれを理解しあうことが需要だと思う ・
	2-5 事業計画は定められているか	3		理事長・校長が示した方針に従い、運営方針及び事業計画も明確にしている。	事業年度前に決定され、理事会・評議員会・監事会で承認を受けている。	
	2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	3		各部署の業務分担を明確化し、業務担当者は所属長への報告を徹底している。各権限が集中しており効率的である。	運営組織は事業年度前に指し示され、理事長・校長をトップに組織的な運営、意思決定がなされている。	
	2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	3		就業規則や各種規定において明確に定めている。人事評価システムの導入については引き続き検討中。	・人事・賃金に関するさまざまな諸規定は、社会保険労務士のアドバイスのもと整備されており、コンプライアンス意識をもって、業務が行われている。 ・働き方改革等から待遇面での改善も前年度、前々年度に続き実施した。	
	2-8 意思決定システムは確立されているか	3		各部署の所属長に担当業務を振り分けており、意思決定システムは明確である。	組織内での役割に基づいた意思決定が行われている。	
2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3		最新の情報システム導入により、業務は効率的に行われている。	最新の情報をオフィスソフトウェアを使用し情報共有している。デジタルデータ共有のため、校舎内にファイルサーバを設置。日次バックアップを自動化した。さらにクラウドファイルサーバの設置により外出先でのファイル共有が可能。より意思伝達が明確になった。職員向けグループウェア(J-Motto)を利用し施設設備予約、回覧情報共有、スケジュール設定等が可能になり、職員行動を「見える化」した。さらに学生募集ツールを導入した。Webページシステムであり多軸データ解析、外出先での各種データ閲覧が可能。広報活動における協力的なツールとなった。		

令和6年度 自己点検・自己評価 集計表

令和6年度自己点検自己評価（令和6年4月1日～令和7年3月31日）による

大項目	点検・評価項目	自己評価		自己点検・自己評価項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	学校関係者評価委員会からのご意見
		優れている・3 適切・・・2 改善が必要・1				
3 教育活動	3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	3		・目標である国家資格の合格率を高める、就職実績、卒業生のサロンからの評価の高さが本校の教育の方向性が正しいことを証明していると自負している。このことを継続できるように努めていきたい。 ・美容業界で活躍する卒業生はもちろんのこと、サロン説明会や個別説明会、サロンの方の技術展示等でオーナーとの接点を数多く持つことで業界の要望をつかみ、教育内容に反映させている。	数多くの業界関係者との接点により、教科書に記載されていないこと、今まで取り組んでいないことであっても前向きに採用したい。まつ毛エクステについては教員研修も含めて積極的に取り組んでいる。	・以前は国家試験合格のための学校だったが、現場と学校とのギャップをどう埋めていくかをカリキュラムにおいて検討していく必要があるのではないか。
	3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	3		・国家試験合格に向けて、段階的に各学年での到達レベルを複数回確認しながら進めているので、明確にされている。 ・実技、学科ともに担当教員により到達レベルは明確にされている	特に実技については、学年全員の教員で一人一人の技術を評価し、到達レベルを把握し、評価している。評価は100点法で採点し、平常点を加味している。	
	3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	3		・美容師法に基づいたカリキュラムのなかで、学生が興味を持ち、かつ現場で役立つカリキュラムを編成している ・国家試験合格率の高さに成果が現れている。	・2年間2,148時間を履修し、内1,491時間を法定課目、657時間を学校独自のカリキュラムとして実施している。また、2年次はコース制を取り入れている。	
	3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けがされているか	3		学科の各科目についてはシラバスによって内容が明確化されており、適正な位置付けがされている。	美容師国家試験合格に向けたカリキュラムを中心にシラバスが作成されている。	
	3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	3		学生の社会的・職業的観点から実施されている	美容師国家試験合格に向け集中学習することが、学生にとって最も大きなキャリア教育となる。また、美容室の現場で使われている技術を身につけさせることも同様である。その意味で十二分に実施されている。	
	3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか	3		・外部の実績ある技術研修へ参加を奨励しているほか、教員間が緊密にコミュニケーションを取りあい、お互いに確認を行いながら、教育力・技術力の向上に取り組んでいる。 ・特別セミナーや学校行事等の都度、学生からのアンケートを実施し、より細かく学生の満足度を図っている。	実習中心の授業は学生とマンツーマンでコミュニケーションをとりながら技術を教えていく。その際に学生評価を聞き、フィードバックすることができる。教員が技術指導する際は、事前に面談を行うことにより学生理解を深めながら指導にあたっている。引き続き、「学生満足度」をキーワードに学生を褒めながら技術指導を行い、最後まで諦めない指導を教員に周知徹底している。学科講師にはわかりやすい授業実施を繰り返しお願いしている。	
	3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3		・法令に定められている教員要件を満たしていることは当然のこと、採用段階での学科の育成目標や目指している学生像を説明することにより、学校サイドの考え方を明確に説明している。 ・法定要件に合致した教員のみ採用し、さまざまな機会を通じ学校の育成目標に触れさせている	学生教育にあたり、実務経験の十分な教員を確保し、道内のみならず首都圏等でさまざまな研修を受講させている。専任教員だけでなく兼任教員も含めた反省会を校内で行い、育成目標に向け全校一致で進めるようにしている。	
	3-17 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3		成績評価・単位認定については、教務規定に明記し、入学時及び在学中、保護者説明会等で学生本人のみならず保護者へも書面を配布し、口頭でも説明し周知している。	入学時、試験前、進級時に管理職、担任から繰り返し説明している。さらに修学支援新制度にて電子データでの成績提出が必要であり、より厳密な成績管理が必要となった。	
3-18 資格取得の指導体制はあるか	3		目標としている資格が明確に定められている。特に2年次後期は美容師国家試験合格については対策授業を中心に十分にサポートできる体制が整っている。	・国家試験合格に向け、実技、筆記ともに本番をシミュレーションしながら、行っている。 ・スマホを使った国家試験対策にプラスして模擬試験を5回さらにミニテストを実施し、試験点数下位の学生については繰り返し、各教科毎の補講授業を行っている。		

令和6年度 自己点検・自己評価 集計表

令和6年度自己点検自己評価（令和6年4月1日～令和7年3月31日）による

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	学校関係者評価委員からのご意見
		優れている・3 適切・・・2 改善が必要・1			
4 教育成果	4-19 就職率（卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率）の向上が図られているか	3	令和7年3月美容科の卒業生103名、就職希望者101名全員の就職決定して卒業した。（就職率100%）ここ数年、職業意識が薄くなかなか就職活動を行わない学生もいるが、きめ細かな教職員の指導により改善した。そのため、求人票の見方、履歴書指導、面接指導など、学務と教務が連携しながら個別に就職指導を行っている。	・就職担当者との個人面談、校内で年5回行われるサロン説明会（1回につき約50社程前後）、個別説明会を通じ、数多くのサロンと触れる機会を作り、全学生の就職を目指している。	・教育の成果は国家試験取得だけでなく、美容師になった後のことも教えて欲しい ・退学率低減に向けてより積極的に取り組んで欲しい
	4-20 資格取得率の向上が図られているか	3	国家試験合格のみならず、他の民間資格取得も100%を目標に今後も適切な指導体制が取れるよう実施する。	・令和7年3月卒業生135名（ヘアメイク科含）中120名が美容師国家試験合格し、実技全員合格、筆記15名不合格で合格率88.9%。札幌市内ではNO.1であった。学校全体の国家試験合格率は過去19年間、3312名が受験し3129名が合格率94.5%であった。 ・課外ゼミ等を通じて、各種資格取得を目指し、学びの機会をより多く提供している。	
	4-21 退学率の低減が図られているか	3	個々の学生が何を目標に目的として学んでいるかを常に頭から離さないよう学生と接している。自分の経験値だけで学生の良い、悪いの評価をしないことを心掛け、信頼関係の構築の手段として複数回、個人面談を活用している。	・進路に悩みのある学生については、担任、学年主任、教頭、教務部長、学務との面談機会を複数設け、その解決に向け努力している	
	4-22 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	卒業生の活躍は、概ね把握している。また、在校生は校外コンテストにより優勝・入賞を本校ホームページに掲載している。100周年を目指し、同窓会立ち上げを進めており、卒業年度限定のミニ同窓会を企画中である。	1万5000名を超える卒業生のすべての活躍は把握できないが、新聞（業界紙含む）、美容組合、卒業生からの口コミ等、多方面に広く情報提供をお願いしている。東京在住の技術本を出版した卒業生を特別セミナーで招致した。	
5 学生支援	5-23 就職に関する体制は整備されているか	3	就職に関する体制は就職担当者を専門に配置し、担任が個人面談を複数回行い、本人の希望調査も1年次・2年次と意識調査を行っている。そのことにより学生が求めている求人内容を理解・整理している。本人希望や適性等を把握することが出来る。	学生と担任との面談、就職担当者との面談により、履歴書作成、作文指導、面接指導などきめ細かく行われている。また本校に届く求人票を電子システム化した。これにより学生での就職先検索が容易になる。さらに面接試験の内容を入力し、学生に役立つ情報を提供できる環境を整えた。	・卒業生が相談等で来校していることは素晴らしいこと。支援が行き届いている結果ではないか ・就職やその他の支援も行き届いて素晴らしいと思う
	5-24 学生相談に関する体制は整備されているか	3	学生相談についてはクラス担任制により、個別に相談に応じている。本校の担任制は1担任1クラス制のため、複数のクラスを担当することがないため、手厚い指導が可能となっている。	・学費、進路、生活、就職などさまざまな相談に数多くの教職員が対応している。 ・具体的には3種類の個別面談を行っている 1. 学業面での相談 2. 生活面での諸問題相談 3. 学校生活全般の相談	
	5-25 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3	・本校独自の学費の一部が免除となる特待生や学費分納制度等、ある程度の支援体制は整備されている。当該年度よりはじまった就学支援新制度の対象校に引き続き認定させている。 ・学費困難な学生に対しては具体的には支援として ①就学支援新制度の導入 ②学費納入時に分割納入対応を行っている ③学費納入時期の柔軟な対応	入学時に学校独自の特待生制度があり、多くの学生が学費減免されている。さらに、毎月払いにできる独自制度の利用者も多い。もちろん、学生支援機構の奨学金についても担当者が丁寧に対応している。また文部科学省主催の修学支援新制度を利用し経済状況に応じた学費減免および、日本学生支援機構主催の給付型奨学金制度も取り入れている。学費と生活費両面からの支援ができる状況が整った。	
	5-26 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	・年1回の学生全員に健康診断を行っている ・毎朝、ホームルームの時間に、新型コロナウイルスやインフルエンザなど、学校で予防すべき感染症にかかっている学生がいないか、健康状態を調べている。	「日本健康クラブ」の健診を通じて、健康管理を行っており、必要に応じ2次健診をうけさせる体制を整えている。	
	5-27 課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	課外活動としては本校が独自に設定している課外ゼミがあり、ゼミの中には各種資格取得や校外のコンテストへ出場するための技術指導等の支援体制が整備されている。	放課後に数多くの課外ゼミが行われている。そのコンテスト出場者の旅費や講師料を学校が一部援助している。結果として、全国優勝を含め素晴らしい実績を残している。	
	5-28 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	3	本校と提携している複数の学生会館の斡旋をはじめ、一人暮らしを希望している学生に対しては信頼のおける不動産会社の紹介等も行っている。（仲介無料物件、家具付物件の斡旋等）	入学前に学生会館、賃貸アパート仲介業者に関する資料を送付している。これまでに、不動産会社による賃貸契約や退室時のトラブルがなく信頼できる業者である。また学生会館にて何らかのトラブルがあった際は当日中の連絡を受け情報共有している。	
	5-29 保護者と適切に連携しているか	3	保護者の連携は適切であると認識している。入学時の保護者説明会の実施、学期ごとの成績表の通知、学生の出席状況が常でない場合等は必要に応じて保護者面談、三者面談を実施している。	入学時のオリエンテーションから始まり、在学中の欠席が重なった場合、学費滞納時、学校生活で問題が発生した場合など、密に連絡を行い対応している。	
5-30 卒業生への支援体制はあるか	3	卒業生とは学務を中心に連絡を取り合い様々な相談に応じている。特に求人情報の提供も行っている。	主に就職、国家試験再受験時のサポートなど行っている。全卒業生の登録を目標としたOBOG会が発足した。会への新規登録および本人確認には会運営業者がオンラインで進める。在校生に登録を促す為の登録会を複数回実施している。さらに校内で実施する就職相談会開催時に、本校卒業生に対し登録用のリーフを配布する。また美容組合の機関紙に登録依頼の広告を掲載している。今後、卒業生間の人的交流が増え、求職求人活動活性化や寄付金制度の創設が可能にしたい。		

令和6年度 自己点検・自己評価 集計表

令和6年度自己点検自己評価（令和6年4月1日～令和7年3月31日）による

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	学校関係者評価委員からのご意見
		優れている・3 適切・・・2 改善が必要・1			
6 教育環境	6-31 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	施設・設備については高いレベルで整備されていると考えている。実際のサロン現場で使用されている機材等の完備をはじめ、実践授業を想定した実習室が多数完備されている。令和6年3月にはメイクスタジオの大幅な改修を実施し、有効活用している。	・各クラス分の専用教室が完備されていることをはじめ、2つのシャンプー実習室、メイクスタジオはすべて一人一台体制での授業を行い、学生の満足度の高い授業を行う環境が整っている。 ・竣工して19年経った施設だが、現在も、十二分な設備と内容であり、関係者にも高く評価されている。 ・校舎内全てのフロアにWi-Fiアクセスポイントを設置し学生が自由にインターネットアクセスできる環境が整っている。これにより授業の成果物をSNSを通じ公開する際の各種操作方法、リテラシー教育が可能になった。	・特記なし
	6-32 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	学外実習、海外研修、校外でのコンテスト参加は卒業後、サロン現場で活躍する際に大切な経験であると考えている。今後も予定していきたい。	海外研修等は参加者が少数の場合、実施を見合わせている。	
	6-33 防災に対する体制は整備されているか	3	防災に関する体制は日常からの確に機能できるよう準備されている。	防火管理者のもと、防火組織を作成している。全校での避難訓練を全学生と全職員を対象に校内での出火を想定した避難訓練を実施している。	
7 学生の募集と受け入れ	7-34 学生募集活動は、適正に行われているか	3	学生募集活動は、入学案内・募集要項の通り、適正に行われている。	・入学対象者の学校選びの選択肢を広げる考えから、オープンキャンパスを行っている。引き続き出張オーキャンを実施し、遠方の対象者へ来校型オープンキャンパス以外の機会を引き続き提供している。 ・誇大広告や紛らわしい表現で高校生を惑わすことのないよう細心の注意を払っている。AO入学では、（公社）北海道私立専修学校各種学校連合会で定められたルールを遵守している。	・本校は札幌で一番学費の安い学校だが、物価が高騰しているので学費値上げも必要ではないか
	7-35 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	入学案内・ホームページ等を通して、国家試験合格率・就職実績等の教育成果を正確に紹介している。	・入学案内、HP、DVDを作成し、進学相談会やSNSで教育成果を伝え、さらにオープンキャンパス等で在学生の教育成果を高校生に知ってもらうよう努力している ・SNS（LINE）やinstagramを使った、学校の授業やイベント、オープンキャンパスの案内等の情報配信を積極的に行っている。特にinstagramの情報発信に力を入れており、よりリアルな学校内容を対象者へ伝えられるよう広報職員が創意工夫に努めている。	
	7-36 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	3	募集要項に掲載している通りに、本校の選考基準に従い、公平且つ厳正に行っている。今後もこのことを継続していきたい。	美容師が接客業であることから特待生入学と一般入学は面接試験を行っており、面接での評価及び高校時の評定や欠席日数を点数化し、適正且つ公平な基準で選考を行っている。AO入学希望者にも面談を実施している。	
	7-37 学納金は妥当なものとなっているか	3	学納金について妥当と考え設定している。	・札幌市内の美容学校4校の中でも最も金額を抑えて設定している。学費負担者に対して負担をなるべく抑えることは基より、年間学費を諸経費を含め、募集要項に正確に明示している。 ・物価高の影響もあり、授業料をはじめ光熱費、教材費等について値上げを行った。	

令和6年度 自己点検・自己評価 集計表

令和6年度自己点検自己評価（令和6年4月1日～令和7年3月31日）による

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	学校関係者評価委員からのご意見
		優れている・3 適切・・・2 改善が必要・1			
8 財務	8-38 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	財務基盤は健全であると言える。収支予算計画が妥当に執行されている。	・今後、入学生減少が予想されるがそれに対応できる基盤ができあがりつつある。 ・令和6年度は、前年と比較し学生募集は特に堅調であった。	・定員締切りが出来たことは素晴らしいこと ・校舎は19年経過していることは当然、修繕もあるだろうし、予算を削らず施設の拡充等の投資も必要だと思う
	8-39 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	財務については税理士の指導を受けながら、適切に会計を行っている。	例年、3月に理事会・評議員会・監事会において、予算収支計画の承認を得ている。また、5月には前年予算に基づいた決算について承認されている。	
	8-40 財務について会計監査が適正に行われているか	3	財務については顧問の公認会計士の指導を受けながら、適切に会計監査を行っている。	監事による監査並びに理事会・評議員会への報告が行われている。	
	8-41 財務情報公開の体制整備はできているか	3	財務情報公開については、本校のHP、情報公開コンテンツで、法人の財務状況を公開している。	法人の財務状況は、HP上で「貸借対照表」「資金収支計算書」「事業収支計算書」を公開している。	
9 法令等の遵守	9-42 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	法令及び設置基準に対して適正に運営している。教職員のみならず学生に対する啓蒙として外部から講師派遣による講義も行っている。	・監督官庁からの文書や指導に基づくコンプライアンスに従い、学校運営が行われている	・法令の遵守については、近年はSNSの普及により、本当に難しい対応を迫られている。多方面の業界でも対応に苦慮していると聞くので、さらなる対策が必要と感じる。
	9-43 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3	個人情報保護法対策は教職員への啓蒙も含めて、厳格に行っている。	・Webサイトにてイベント参加申し込み等、個人情報入力が必要なページには最新のSSLを導入し、情報伝達経路を暗号化している。 ・学内情報システム出入口にアンチウイルス対策UTM、アプライアンス型のファイアウォールを設置し、電子データの漏洩対策および外部インターネットからの不正侵入を防止。これらにより学生および本校で保管するデータ全般を保全している。 ・教職員用通信回線と学生用通信回線を導入し、物理的な回線接続を回避している。これら対策により、これまでにオンラインに関する事故は発生していない。	
	9-44 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3	自己点検・自己評価を行う評価体制は整い、平成25年度より結果をホームページにて公開している。問題点については改善に努めていきたい。	自己点検・自己評価の実施はもちろん、特に学校関係者評価委員からご意見は、謙虚に受け止め改善に努めたい。	
	9-45 自己点検・自己評価結果を公開しているか	3	本校のHPに「学校関係者評価委員会評価結果及び改善方策」を公開している。	今後も引き続き公開していきたい。	
10 社会貢献	10-46 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3	在校生が冬季を除く毎日、校舎周辺の清掃活動を行っている。	学校法人の公益性に鑑み、他に機会があれば取り組みたい。	
	10-47 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2	学生個々が可能な範囲内でボランティア活動を行うことを奨励している。	積極的なボランティア活動を本年度は実施していないが積極的に検討したい。	

令和6年度 自己点検・自己評価 集計表

令和6年度自己点検自己評価（令和6年4月1日～令和7年3月31日）による

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	学校関係者評価委員からのご意見
		優れている・3 適切・・・2 改善が必要・1			
1 1 国際 交流	11-48 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	2	現実に留学生はいないが、アジア地域の留学生受け入れを検討したい	特になし	・国際交流は今後、広めていただきたい
	11-49 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	2	受け入れ時には、適切な手続きをとりたい	特になし	
	11-50 留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	2	受け入れ時には、適切な体制をとりたい	特になし	
	11-51 学修成果が国内外で評価されると取組を行っているか	3	積極的な取り組みを行っている	特になし	